基礎演習 割り当て表の読み方

割り当て表について説明します。右図は表の一部を抜粋したものです。

自分の担当範囲は「マスに書かれた見出しから次の人の担当範囲の手前まで」と読んでください。たとえば、中村さんは CHAPTER 2 の最初から始まり、野中さんの担当範囲「THE STUDY OF THE BIOLOGICAL BASES OF PSYCHOLOGY」の手前までです。そして、次の野中さんは笛木さんの担当範囲の手前までを担当します。以下、学生証番号の順に担当範囲が進んでいき、山田君の担当範囲が終わる

氏名	1	2	T
1 中村 朋華	CHAPTER 2: BIOLOGICAL FOUNDATIONS OF PSYCHOLOGY	Split-Brain research	•
2 野中 あおい	THE STUDY OF THE BIOLOGICAL BASES OF PSYCHOLOGY	Hemispheric specialization	Ī
3 笛木万葉	NEURONS, THE BUILDING BLOCKS OF THE NERVOUS SYSTEM	THE AUTONOMIC NERVOUS SYSTEM	•
4 二塚千晶	Action potentials	EVOLUTION, GENES, AND BEHAVIOR	ľ
5 松本春香	Synaptic transmission and neural coding	Chromosomes and genes	ľ
6 南谷高志	Neurotransmitters	Genetic studies of behavior	Ī

と2周目に入り、中村さんの2回目の発表に続いていきます。3周目以降も同様です。

自分の担当範囲を確認する際は、必ず「次の人がどこからか」を確認してください。前期とは違い、後期の割り当て表は、セクションの途中で担当範囲を切ることはなく、1回の担当範囲が多少長くなっても構わないことにしています。従って、人により、周により、担当範囲が激しく増減します。ですが、各人が累積でどのくらいの量を分担しているかを管理していますので、今回の担当範囲が多ければ、そのうち短い範囲の割り当てがくるだろうと思ってください。あるいは、多少の増減では調整不能となった場合、「担当量調整のため 1回休み」と表記します。この場合、その人のその周の発表はありません。

上にも書きましたが、人によって担当範囲の分量が大きく違います。自分の担当範囲の分量が多かったとして も、その前の人は非常に短くてすぐに終わってしまい、自分の番が思ったより早く回ってきてしまうこともあり 得ます。自分の番が来た時点で訳文が用意できていない場合は、無断欠席と同様に扱います。常にある程度の余 裕を持って準備してください。

訳文の作り方は、柳が作成した訳文(第 1 章第 1 ページ)の体裁に従ってください(厳密に全く同じでなくても構いません)。担当範囲に引用文献がある場合は、テキストの最後にある文献リストから該当する文献情報を訳文の最後に載せてください。そのまま書き写すだけでも構いませんが、APA スタイルに準拠した形式に整形することを推奨します。また、心理学辞典等で専門用語を調べた場合は、訳文の脚注でその意味を説明してください(説明の最後に「辞書名(出版社)」を書いてください)。辞書の説明が長い場合は、テキストの文脈に照らし合わせて適当な範囲を抜粋すれば十分です。